

# 三次 真一郎 市長 2 期目スタート



任期満了に伴う常陸大宮市長選は4月8日に告示され、立候補の届け出は三次真一郎氏のみであったことから、無投票で再選が決まりました。

三次氏は23日に初登庁し、就任式が行われました。

任期は平成28年4月22日までです。

## 市長就任あいさつ

このたび、市長に就任いたしました三次真一郎でございます。就任にあたりましてのごあいさつを申し上げます。

過日執行されました常陸大宮市長選挙におきましては、市民の皆様への温かいご支援を賜り、ご信任を得て再び市政のかじ取り役を担わせていただくことになりました。

私にとりまして、大変光栄なことであるとともに、その責任の重大さを痛感し、市民の皆様の期待にお応えしなければならぬという使命感で身の引き締まる思いであります。

さて、我が国は今、大震災からの復旧・復興、歴史的な円高に対する是正措置と産業の空洞化の阻止、そして国民生活の安定と生産活動を維持するための電力の安定的な確保対策など、国難とも言える時代にあり、国の総力を挙げて迅速、かつ、果敢に取り組まなければならない諸課題が山積みしております。

こうした内外ともに極めて厳しい情勢のなか、常陸大宮市は合併以来8年の歳月が経過し、社会基盤の整備は着々と前進することができた一方、市民の一体感を醸成するという

面では不十分であると考えております。

私は、これからの4年間をそれぞれの地域の歴史、文化、伝統を尊重し、それぞれの地域の特性を生かしながら、バランスのとれたまちづくりを進め、常陸大宮市の更なる発展のために、これまで取り組んでまいりました諸施策はもとより、大震災から学んだ教訓や人口減少、少子・高齢化及び過疎化社会への対応など、将来世代に引き継ぐ元気な常陸大宮市が実現するため、全力で取り組んでまいります。

特に2期目の市政を推進するにあたりましては、平成24年度から新しい総合計画の後期基本計画が策定され、その計画の中で掲げる将来像で

ある「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」の実現を目指してまいります。

そのためには、市民の皆様の市政に対する「生の声」をお聞きする場として、「移動市長室」の更なる充実を図りながら、市民協働のまちづくりを構築してまいります。また、未来ある子どもたちに自分の郷土に誇りを持ち、郷土づくりに役立つ人材を育成するため「新しい時代を生き抜く郷育立市づくり」を推進し、「任んでよかった」、「合併してよかった」と思えるふるさとづくりにまい進する決意であります。

結びに、市民の皆様方の幸福の実現に向けて精魂を傾けてまいる所存でございますので、温かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。市長就任にあたりましてのごあいさつといたします。



▲就任式であいさつをする三次市長

